

令和4年度事業報告について

1. 救助実績

令和4年度においては、24件の救助出動を行い、沿岸における海難救助に貢献した。

なお、救助活動に出動した所員数は合計148名、出動船舶数は43隻となっている。

(1) 本会の救助実績

区 分	令和4年度	備考
救 助 出 動 数	24	福岡市水上消防団に所属する10救難所について、別途25件の出動実績（福岡市消防局）
救 助 船 舶 数	10	
救 助 人 員 数	29	

※ 救助の詳細については、別紙1のとおり。

(2) 最近5か年の救助実績

種 別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件 数	41	38	31	34	24
救 助 船 舶 数	18	12	13	15	10
救 助 人 員	52	40	39	39	29

令和4年度 海難救助出動 一覧表

No	発生日	出動 救難所	事故 区分	事 故 内 容	報告書 受理日	海保等 送付日	日本救 送付日	報奨金 決定日	金額	船舶出動 助成金	送金 処理日	救助成果(数)
												船舶 人員
1	4.3.8	船越	人身	ゴムボートが係留され人員がいないため捜索、発見し心肺蘇生を実施し消防に引き継ぎ	4.3.10	4.3.14	4.4.4	4.4.28	50,000		4.5.18	
2	4.3.11	姫島	船舶	海保からの救助要請により出動、漂流のゴムボートを発見し救助	4.3.17	4.3.22	4.4.4	4.4.28	15,000		4.5.18	1 1
3	4.3.28	大岳	船舶	小型船が乗揚げとの連絡を受け出動、現着時既に無事を確認	4.4.1	4.4.1	4.4.19	4.4.28	10,000		4.5.18	
4	4.5.1	神湊	船舶	海保からの連絡を受け航行不能のプレジャーボートを港に曳航し上架	4.6.27	4.6.27	4.7.7	4.8.1	60,000	10,000	4.8.15	1 11
5	4.5.13	地島	船舶	プレジャーボート火災との海保からの連絡を受け出動	4.5.19	4.5.19	4.5.27	4.5.31	20,000	10,000	4.6.14	
6	4.5.30	奈多	船舶	海保からの出動要請を受け漂流したゴムボートを救助	4.6.1	4.6.1	4.6.17	4.7.1	25,000	10,000	4.7.14	1 2
7	4.6.3	福吉	船舶	衝突事故の曳航されし船中の船を港まで護衛。油漏れ処理の対応を実施	4.6.20	4.7.1	4.7.26	4.8.1	30,000	30,000	4.8.15	1 3
8	4.6.5	福吉	船舶	エンジン故障の連絡を受け救助。現場到着後、自力で帰港	4.6.20	4.7.1	4.7.26	4.8.1	5,000	5,000	4.8.15	
9	4.6.15	岐志新町	人身	漂流している船を発見、船内に人が倒れており曳航し救助要請の連絡	4.6.20	4.7.1	4.7.26	4.8.1	30,000	10,000	4.8.15	
10	4.6.15	福吉	人身	漂流している船を発見、船内に人が倒れており曳航し救助要請の連絡	4.6.27	4.7.1	4.7.26	4.8.1	50,000	10,000	4.8.15	
11	4.7.3	大川	船舶	漁船が衝突しているのを確認したため曳航救助	4.7.19	—	4.7.19	4.8.1	15,000	10,000	4.8.15	2 4
12	4.7.23	福吉	人身	海で行方不明との連絡を受け出動捜索、沈んでいるのを発見	4.7.28	4.8.1	4.8.12	4.9.1	100,000	10,000	4.9.15	
13	4.7.23	深江	人身	海で行方不明との連絡を受け出動捜索、沈んでいるのを発見	4.7.29	4.8.1	4.8.12	4.9.1	10,000	5,000	4.9.15	
14	4.7.31	津屋崎	船舶	ゴムボートが流れているとの連絡を受け出動し救助	4.8.8	4.8.8	4.8.22	4.9.1	25,000	5,000	4.9.15	
15	4.8.1	西浦	船舶	ゴムボートが流れているとの連絡を受け出動	4.8.10	4.8.12	4.8.22	4.9.1	25,000	10,000	4.9.15	
16	4.9.4	芥屋	船舶	エンジン故障で航行不能との連絡を受け出動	4.9.7	4.9.12	4.9.20	4.10.3	25,000	5,000	4.10.14	
17	4.11.6	奈多	船舶	機関故障のため海保巡視船曳航を引き継ぎ港内まで曳航	4.11.11	4.11.11	4.11.28	4.12.23	24,000	10,000	5.1.16	1 3
18	4.11.8	奈多	人身	クレーンボックス等が放置されているとの通報があり出動、発見	4.11.14	4.11.15	4.11.28	4.12.23	40,000	15,000	5.1.16	1
19	4.11.27	宇島	船舶	海保からの連絡により漂流する船舶を港内まで曳航	4.12.2	4.12.3	4.12.15	4.12.23	12,000	5,000	5.1.16	1
20	4.12.29	平松	船舶	漁船が転覆しているとの連絡を受け出動、船舶を港内まで曳航	5.2.16	5.2.16	5.2.16	5.3.3	10,000	5,000	5.3.14	1 1
21	5.1.21	大岳	船舶	海保からの連絡を受け転覆したヨットを救助、砂浜まで曳航	5.1.31	5.1.31	5.1.31	5.3.3	15,000	5,000	5.3.14	1 2
22	5.2.3	相島	船舶	エンジン故障で航行不能との連絡を受け出動、港内まで曳航	5.2.9	5.2.9	5.2.20	5.3.3	20,000	5,000	5.3.14	1 1
23	5.2.3	津屋崎	船舶	エンジン故障で航行不能との連絡を受け出動	5.2.9	5.2.9	5.2.20	5.3.3	15,000	5,000	5.3.14	
24	5.2.12	波津	船舶	ミニボートが転覆との連絡を受け出動、港内まで曳航	5.2.27	—	2.2.27	5.3.3	15,000	5,000	5.3.14	
25	5.2.12	神湊	船舶	ミニボートが転覆との連絡を受け出動	5.3.2	5.3.2	5.3.14					
26	5.3.21	野北	船舶	浅瀬に乗り上げた船舶を発見との連絡を受け出動、船長を救助	5.3.27	5.3.30						1
27	5.3.31	柏原	船舶	ミニボートが転覆との連絡を受け出動	—	—						
									787,000	185,000		10 29

(備考) 額は、一部県水産救済金から支出)

2 訓練

海難救助訓練は、コロナ禍で自粛した救難所がある中、3救難所で実施されました。

救難所名 実施場所	実施時期	訓練の内容	参加人員 (参加所員数)
相島救難所 相島港周辺	7月13日	粕屋北部消防本部との合同訓練 (転落者の潜水搜索)	13 (6)
相島救難所 相島港周辺	7月15日	浸水船排水訓練、火災船消火訓練 曳航訓練	14 (14)
大岳救難所 古賀海岸	7月15日	夏季合同海難救助訓練 (漂流者救助訓練)	85 (4)
苅田救難所 苅田海上保安署	11月26日	油流出事故対応研修	5 (3)
計		3救難所	117 (27)

3 会議等

本会事業推進のため、下記のとおり会議等を開催し、行事に参加した。

月日	会議名等	場所	会議事項等
4月6日	令和3年度決算監事監査	局災害対策室	野上・島田監事
4月18日	第1回理事会	書面審査	令和3年度事業報告・収支決算(案)
5月17日	第21回定時総会	博多サンヒルズホテル	令和3年度収支決算(案)、役員を選任(案)
5月17日	臨時理事会	博多サンヒルズホテル	役員(会長、副会長及び常務理事)の選任(案)
5月29日	福岡県総合防災訓練	篠栗町会場	金丸理事
6月7日	日本水難救済会第130回定時総会	海運クラブ	令和3年度事業報告・収支決算(案) 役員を選任(案)
7月15日	夏季合同海難救助訓練	古賀市花鶴川河口東側	大岳救難所
7月20日	「海の日」表彰式典	プレミアムホテル門司港	別記「海の日」表彰者
7月23日	臨時理事会	博多サンヒルズホテル	救助船の燃料費助成 救難用資器材の計画的配備
7月23日	救難所所長会議	博多サンヒルズホテル	海難救助出動の取扱い 救難資器材の整備及び配備方法
10月21日	日本水難救済会第2回理事会	海事センタービル	今林会長
12月2日	第2回理事会	博多サンヒルズホテル	船舶購入資金、職務執行状況報告、その他
2月10日	第七管区海上保安本部管内 水難救済会交流会	博多サンヒルズホテル	令和4年度事業及び予算等
3月14日	第3回理事会	博多サンヒルズホテル	令和5年度事業計画(案)、収支予算 (案)、その他

4 監査

(公社) 福岡県水難救済会監事監査 令和5年4月4日 於 防災危機管理局災害対策室

5 表彰

「海の日」表彰

(敬称略)

表彰名	所属	表彰者氏名
海上保安庁長官表彰	副会長	西田晴征
第七管区海上保安本部長表彰	地島救難所	立石智

6 出動報奨金

令和4年度に日本水難救済会等により支給された出動報奨金は、下記のとおりです。

出動報奨金支給一覧表

(単位：円)

地区	救難所名	支給額	地区	救難所名	支給額
福岡地区	奈多	124,000	宗像地区	津屋崎	50,000
	志賀島			鐘崎	
	箱崎			神湊	70,000
	玄界島			大島	
	唐泊			福岡	
	西浦	35,000		地島	30,000
	姪浜			小計	150,000
	伊崎			宇島	17,000
	能古			柏原	
	小呂島			築上町	
	弘			波津	20,000
	大岳	30,000		芦屋	
小計	189,000	北九州地区	平松	15,000	
糸島地区	加布里		長浜		
	野北		馬島		
	姫島	15,000	藍島		
	船越	50,000	苅田		
	深江	15,000	脇田		
	福吉	381,000	岩屋		
	岐志新町	40,000	小計	52,000	
	芥屋	30,000	大川	25,000	
小計	531,000	有明地区	柳川		
糟屋	相島	25,000	大和高田		
			有明マリン		
	小計	25,000	小計	25,000	
		合計	972,000		

7 青い羽根募金

青い羽根募金（一般募金）は、第七管区海上保安本部及び関係海上保安部の全面的な協力を得て、多くの方々から善意の提供を受け、多額の募金を頂戴した。

この募金については、今後とも積極的に広報・啓発活動を行い、毎年の募金実績を一定水準に維持することが、これからの救難資器材の調達等を安定的に実施できることであり、今後とも目標達成に努めたい。

- ・募金実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・募金目標額 4,700,000円
- ・募金実績額 5,742,275円（対前年度比 113.5%）
- ・内訳（1）一般募金 2,480,860円（対前年度比 100.4%）
 （2）支援自販機 3,261,415円（対前年度比 126.0%）

*手数料、電気代分を除く

(円)

募 金 使 途 内 容			
活動推進費	46,220	表 彰 費	37,804
募金活動資材費	209,328	出勤報奨・訓練奨励費(本会支出分)	329,280
救助用物品等購入費	2,883,980	AEDリース料	929,836

** 支援自販機の設置状況について **

青い羽根募金活動の一環として、CCW、関係者の協力を得て平成20年2月以降、支援自販機の設置に取り組んできた。

設 置 先 名 称 等	住 所 ・ 区 分	設 置 先 名 称 等	住 所 ・ 区 分
1. 海峡釣り公園	小倉北区・公共	17. 白島国家石油備蓄基地事務所	若松区・公共
2. 福岡市漁協唐泊支所	西区・民間	18. 大和漁業協同組合	柳川市・民間
3. 道の駅むなかた	宗像市・民間	19. 岐志観光休憩所	糸島市・公共
4. メイトム宗像	宗像市・公共	20. 福岡マリーナ	東区・民間
5. 三池港駐車場	大牟田市・公共	21. 西鉄新宮バス待合所	新宮町・公共
6. 北九州エアターミナル	小倉南区・民間	22. 若築建設(株)資料館前	若松区・民間
7. 三菱ケミカル(株)福岡事業所	八幡西区・民間	23. うみんぐ大島	宗像市・民間
8. 宗像漁業協同組合鐘崎本所	宗像市・公共	24. 岐志新町漁港	糸島市・公共
9. 県庁議会棟	博多区・公共	25. 神湊市営渡船ターミナル	宗像市・公共
10. 福岡市消防局	中央区・公共	26. 道の駅みやま	みやま市・民間
11. 鐘の岬活魚センター	宗像市・民間	27. 脇田漁港フィッシャリーナ	北九州市・公共
12. ホテル・ザ・ルイガンズ	東区・民間	28. 相島漁業協同組合	新宮町・民間
13. 日鉄ビジネスサービス九州株式会社	戸畑区・民間	29. 大島漁業協同組合	宗像市・民間
14. 豊築漁協椎田町支所	築上町・民間	30. 若築建設九州支社工事現場	県内・民間
15. 豊築漁協椎田町宇留津	築上町・民間	31. 七管北九州航空基地	航空基地・公共
16. 日本コークス工業株式会社	若松区・民間	32. 宗像市役所北館2階	宗像市・公共
		33. 宗像漁協鐘崎本所荷さばき所	宗像市・公共

8 救難資器材整備

下表の資器材を各救難所に配布し、救難資器材の整備を図った。

品名	数	金額(円)	対象救難所	備考
作業服(上下)	19	205,700	岐志新町、宇島、鐘崎	
作業帽	18	51,480	鐘崎	
安全帽(名前入り)	20	46,200	船越	
投光器(サーチライト)	2	26,400	船越	
強カライト	22	193,600	柏原	
キャップライト	13	42,900	船越、柏原	
双眼鏡	5	209,000	船越	
膨張式胴衣(名前入り)	45	1,061,500	神湊、船越、奈多、大島	
救命浮環(名前入り)	2	31,900	船越	
携帯拡声器	10	203,500	船越、姫島、相島	
携帯用無線電話機	5	62,150	芥屋	
もやい銃空砲	5	39,050	芥屋	
応急医療具	1	18,150	船越	
ナイロンロープ	4	418,000	長浜、船越、芥屋、柏原	
泡消火器、泡消化剤	10	64,900	船越	
法被	6	178,200		
救助船ステッカー	8	11,000	相島、苅田	
自動体外式除細動器(AED)	2	34,320	船越、姫島	リース料
携帯用発電機	1	135,300	柏原	固定資産
消防兼排水ポンプ	1	261,800	長浜	固定資産
蓄電池ポータブル電源	1	181,500	築上町	固定資産
救助船	2	1,606,800	苅田、相島	固定資産
送料		20,350		
合計		2,883,980		

(注)合計金額は、救難器具購入費の合計額を記載。(リース及び固定資産に係る経費を除く。)